

リニア新幹線とは・・・

■事業主体＝JR東海旅客鉄道株式会社

■工事期間＝2014年～2027年

■延長区間＝東京・名古屋間286キロ(東京・神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知)

■中間駅 ＝相模原市、甲府市、飯田市、中津川市周辺

■総工費 ＝5兆4千億円※

■走行方式＝超伝導磁気浮上方式(リニアモーターをマイナス269度まで冷やし、そこに電流を流して超伝導状態にし、側壁の磁石との間に生じる強い磁気により車体を浮上させ走行。最高時速505キロ)

※2027年以降2045年までに大阪まで延伸する計画で、東京・大阪間の総事業費は9兆300億円となる

リニア新幹線は・・・採算とれない、経済効果も無い、駅整備で地元負担

少子高齢化で人口減、新幹線利用客も頭打ち、リニア利用客だけが增える見通しは甘い。建設促進派は中間駅に1時間で5本停まると地元で経済効果大と言うが、停まっても1本。中間駅関連施設、道路など関連整備で地元は巨額の負担を強いられる。

リニア新幹線は・・・電磁波を出す、電気をムダ使い、安全対策も二の次

リニア実験線車内の電磁波レベルは公表されていない。乗客・沿線住民の健康被害の恐れ。新幹線の3～4倍の電力を消費、運行本数が増えれば原発の再稼働による電力を利用か。「万全の安全対策とる」と説明するが、具体的な事故対策は後回し。

リニア新幹線は・・・南アルプスの自然を破壊、都市でもトンネル工事の影響大

山梨から長野へ南アルプスに大トンネル。日本最大の自然に対する日本最大の破壊行為。悪法「大深度法」で、都市部の住民は、家の真下を通っても権利ゼロ。さらに5～10kmおきにつくられる巨大な「立坑」工事で大迷惑。

リニア新幹線は・・・活断層が動いたらトンネルは大丈夫？

東京・名古屋間の8割がトンネル。その間、多くの活断層が存在。「地下は地震に強い」は神話。揺れには多少強いかも。でも地層がずれる断層地震の経験は未知。危険なリニアをつくるより、東南海地震の被害が心配な東海道新幹線の総点検と大規模改修が先ではないのか。

リニア新幹線沿線住民ネットワーク

東京から名古屋まで、リニア新幹線計画に不安と疑問を持つ計画沿線住民グループを中心に、2012年10月、結成に合意しました。お互いに、経験を交流し、問題の多いリニア計画の凍結・再検証を政府に求めて、署名活動を始めました。

現在の参加団体は、リニア・市民ネット、リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会、リニア新幹線を考える相模原連絡会、みどり山梨、飯田リニアを考える会、NO!リニア連絡会(長野県大鹿村)、東濃リニアを考える会など。